

中山間地域等直接支払交付金 平成21年度支払状況

中山間地域とは、平野部の外縁部から山間地に至る地域で、国土の69%を占めています。

市内では、黒羽地区の一部と両郷地区・須賀川地区が「中山間地域」にあたり、それぞれの集落で農地保全に関する取り組みを行っています。

『中山間地域』の現状

河川流域の上流部に位置する中山間地域は、地域の農村が有する水源かん養機能(注)、洪水防止機能、土壌の浸食・崩壊防止機能などの多面的機能によって、下流域の住民を含む多くの住民の生命や財産、豊かなくらしを守っています。

しかしながら、中山間地域では他の地域より高齢化が進み、自然的・経済的・社会的条件が不利な地域であることから、担い手の減少、耕作放棄地の増加などにより、多面的機能が低下し、地域住民全体にとって大きな経済的損失が生じることが心配されています。

守ろう！『中山間地域』

このような状況を踏まえ、中山間地域の農業生産を維持し、多面的機能を確保するため、平成12年から「中山間地域等直接支払交付金制度」が導入されました。



黒羽地区の中山間地域「尻高田の棚田」(北野上)

市と協定を締結した集落は、集落の将来像を明確にする計画書の作成、耕作放棄防止などの活動、水路・農道などの管理活動、多面的機能を増進する活動を継続的に実施し、その活動に対して国・県・市から交付金が交付されています。

平成21年度の集落協定締結状況および交付金支払状況は次のとおりです。

地区	集落協定数	参加農家戸数	交付金(円)
黒羽	5	42	5,596,773
両郷	6	31	6,371,560
須賀川	1	4	289,464
合計	12	77	12,257,797

問い合わせ

農政課農政係

TEL (23) 8708



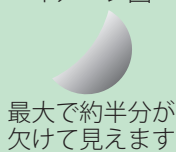
ふれあいの丘天文館 観望案内

申し込み・問い合わせ
ふれあいの丘天文館
TEL (28) 3254

『部分月食観望会』 参加者募集!!

日時
6月26日(土)
午後7時～
午後9時

イメージ図



※雨天・曇天時は中止

●場所
ふれあいの丘 研修室A

●内容
月食についての解説および望遠鏡などによる観望を行います。

●人数 40名(申込先着順)

●参加費
大人 400円、小中学生 200円

●申込方法
電話または直接、ふれあいの丘天文館にお申し込みください。

●受付時間
午前9時～午後9時30分

■申し込み・問い合わせ
大田原市ふれあいの丘 天文館
TEL 0287(28)3254

★6月・7月の天体観望案内★

観望時間	6月		7月	
	午前	午後	夜間	プラネタリウム
①9:30~10:30	②10:45~11:45	③13:30~14:30	④14:45~15:45	⑤16:00~17:00
				⑥18:00~19:00 ⑦19:15~20:15 ⑧20:30~21:30

市内小中学生の宿泊学習・団体利用などがあるため、事前に予約をお願いします。

	6月	7月
昼の観望	★プラネタリウム 「夏の星座」または「宇宙への扉」 ★65cm望遠鏡 金星、レグルス(しし座) シリウス(おおいて座) ★太陽望遠鏡 プロミネンス、黒点など	★プラネタリウム 「夏の星座」または「宇宙への扉」 ★65cm望遠鏡 土星、M3:球状星団(りょうけん座) ★15cm望遠鏡 アルギエバ:二重星(しし座)
夜の観望	★プラネタリウム 「夏の星座」または「宇宙への扉」 ★65cm望遠鏡 金星、アルクトゥース(うしかい座) ★太陽望遠鏡 プロミネンス、黒点など	★プラネタリウム 「夏の星座」または「宇宙への扉」 ★65cm望遠鏡 土星、M13:球状星団(へルクレス座) ★15cm望遠鏡 M16:散光星雲(へび座)
見どころ	この時期の夕方、西の空にひと際明るく輝く金星は、「宵の明星」と呼ばれています。65cm望遠鏡を使うことで、昼間でも金星を観望することができます。	北天で最大のM13球状星団は、美しさにおいても全天一と言われている星団です。65cm望遠鏡で見ると、無数の星が何重にも重なっている状態が観望できます。